

セミナーのご案内

今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 135(通算 408 回)

2008 年 12 月 19 日(金)

サブプライム金融危機下のガバナンス

大学法人資金運用のリスク管理と説明責任

～今、何が焦点か / 現場で起こっていること / 今後の対処の基本～

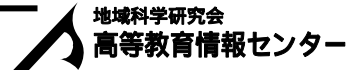
学校法人の財務・資産運用の現状と分析 / 運用ルール作りとガバナンス / 私学事業団の役割
金融危機への対処と留意点 / 年金運用のガバナンスの実際 / 米国大学基金運用から学ぶべきこと
運用の現場と点検評価 / 規程・体制の再構築 / アクション・プラン～何からとりかかるべきか

講師陣

- 田辺 和秀 氏 / 日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 経営支援室長
梅本 洋一 氏 / インディペンデント・フィデュシャリー(株) 法人資金運用管理コンサルタント
非営利法人資金運用研究会事務局長
竹子 立弥 氏 / MFS インベストメント・マネジメント(株) ディレクター
(財)公益法人協会 公益法人資産運用研究会委員

企画協力 非営利法人資金運用研究会

2008 年 12 月 19 日(金) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)



日 時：2008 年 12 月 19 日(金) 9:40～16:40

会 場：剛堂会館ビル(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)
千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362

アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
徒歩 4 分、JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口
から徒歩 10 分

会場の地図及び受講証を送付しますので
必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名(資料代込)

：45,000 円(消費税込)

B. メディア参加(資料・カセットテープ送付)

：46,000 円(送料、消費税込)

C. 非営利法人資金運用研究会員

：22,500 円(消費税込)

参加費の払い戻しは致しませんので、申し込まれた方
の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(参加申込みの折は必ずお送りください)

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ

FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替 00110-8-81660

全ての口座名 <(株)地域科学研究会>

ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
代えさせていただきます。

申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

Tel: 03(3234)1231 / Fax: 03(3234)4993

E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

URL: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/>

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 134

2008 年 月 日

大学法人資金運用のリスク管理と説明責任

当日参加

メディア参加

勤務先

所在地 〒

TEL

FAX

連絡部課・担当者

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

通信欄 支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類(請求書 見積書)

この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

現在進行中の“金融危機の深化”の中で、大学法人の資金運用の“失敗”が顕在化しております。11月中旬には「K大学が金融先物取引に失敗110億円の損失を出す？」のネット情報が走りまわった。強弱はあれ、多分、2桁の法人での同状況が想定されます。点検と対処が急務です。

小会は2006年3月の「学校法人の資金運用とガバナンス」以降6回のセミナーで、ポートフォリオ運用の“基本”と“リスク管理”についての研修会を開催しております。昨年11月には「サブプライム・ショックと学校法人資金運用」についての問題提起を行っております。

今回の金融危機の状況を、貴法人経営を支える運用資金体制のインフラ強化の機会としていただければ幸いです。

時間	講義項目
9:40 ~ 11:10	<p>学校法人の資金運用状況とガバナンス ～リスク管理・経営支援への事業団の役割～ 日本私立学校振興・共済事業団 田辺 和秀</p> <p>1. 学校法人の財務状況と資産運用の現状分析 (1) 財務状況の概況 (2) 運用資産の蓄積状況 (3) 資産運用収入の推移 (4) 有価証券等の時価情報</p> <p>2. 資産運用のルール作りとガバナンス (1) 資産運用手続きの適正化 (2) 諸規定・体制の整備</p> <p>3. リスク管理・経営支援への事業団の役割 (1) 学校法人活性化・再生研究会報告後の取り組み (2) 私学経営情報センター・経営支援室の機能と体制 質疑応答</p>
11:20 ~ 13:00	<p>年金基金・米国大学基金に学ぶ運用ガバナンス ～受託者としての責任ある運用体制とリスク管理の構築～ MFS インベストメント・マネジメント(株) 竹子 立弥</p> <p>1. 現下の金融危機への対処 (1) 基本的な視座～ポートフォリオ運用の“原則”から (2) リスク管理と説明責任の留意点</p> <p>2. 年金基金の運用 (1) 年金運用の意思決定とガバナンス (2) 年金コンサルタントの役割 (3) 運用現場の実際 その建前と本音</p> <p>3. 米国大学基金の運用 (1) 米国大学基金の運用の実際 (2) 米国大学基金の運用ガバナンス (3) 日本の大学法人が学ぶべき内容 質疑応答</p>
14:00 ~ 16:40	<p>資金運用管理の規程・体制の再構築と進化 ～ミッション、説明責任、リスクマネジメント、投資政策の4原則と実践対応～ インディペンデント・フィデュシャリー(株) 梅本 洋一</p> <p>1. サブプライム金融危機下における資金運用の現場 (1) 担当者 (2) 担当理事 (3) 役員会 (4) 取引金融機関担当者 (5) 認識のギャップとそのリスク</p> <p>2. リスク管理・説明責任の点検評価の視点 (1) 大学資金運用の方向性を見失っていないか (2) あり得ない資金運用の前提とその弊害 (3) 担当者・理事の説明責任(アカウンタビリティ)の喪失 (4) なぜ、想定外の損失は起こってしまうのか (5) 行き当たりばったりの運用管理</p> <p>3. 大学資金とその運用管理の原点回帰 (1) 金融・資金運用の理(ことわり)を理解する (2) 大学と資金運用のミッションを一致させる (3) 説明責任(アカウンタビリティ)が問われているポイントを絞り込む (4) リスクマネジメントの要諦を押さえる (5) 投資政策(政策ポートフォリオ・投資方針書)を書面で説明する</p> <p>4. 具体的施策(アクション・プラン)の展開 (1) 理事会は何から取り掛かるべきか (2) 担当役員・事務局の重要な役割とは (3) 運用規程の制改定 (4) 政策ポートフォリオ策定 (5) 投資方針書策定 (6) 外部金融機関の監視・監督 (7) 運用委員会、コンサルタントの位置付けと役割 質疑応答</p>